

姶良市農地利用最適化推進委員候補者の応募状況（最終公表）

【一般募集】

No.	一般募集（応募者）							応募理由	
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	応募地域	農業委員への応募	
1	宮部芳照	男	85	塾講師	S41～H18 鹿児島大学農学部で農業機械や農業システム、農業生産管理に関する教育・研究、H4～H18 日本農作業学会評議会・九州支部長、H5～H9 農業生産管理学会評議会、H6～H16 ネイチャーリングプロジェクト理事、H18～現在 鹿児島県農業共済組合連合会損害評価委員・農業機械部会長、H20～H21 姰良町有機農業推進委員会委員、H22～H25 かごしま有機農業支援センター講師（姫良市）、H25～R5 姰良市環境審議会委員、R1～R3 鹿児島食育推進委員会委員、H28～現在 鹿児島県環境審議会委員	野菜10a（姫良市）60日 果樹（枇杷、その他）20a（指宿市）60日	姫良	有	担い手への農地集積・集約化などの進展により、農作業の効率化、生産性の向上が進みつつあるが、その中で、特に若手の担い手農家の確保や中山間地域の遊休農地・耕作放棄地及び鳥獣被害などの拡大防止は喫緊の課題である。特に、近年の農業資材の高騰は農業経営を直撃している。このような状況下で、農地利用の最適化や高度利用による生産コストの低減や農産物の適正価格の形成、農家の安定した所得向上と持続可能な農業を次世代に残すことは、我々世代の重要な責務であると考えている。これまで何回か応募したのですが・・。今回を最終にして、今後の本市農業の発展のため最後の微力を尽くしたいと願っています。 なお、農地利用の最適化による生産性の向上や今後の農業のあり方など」について、「持論」が南日本新聞に掲載されています。ご参考になれば有難いです。例えば（R元、スマート農業は万能か、R2、コロナと食料安全保障、R4、気候変動に強い農業を、R4、食料自給率向上への道筋は、R5、食と農の国民的議論を、R5、AIを駆使した農業発展を、R6、なぜ増えぬ新規就農者、R7、令和のコメ騒動が教えるもの、R7、止まらない限界集落の拡大と大切な村の食糧生産）など。
2	村岡秋生	男	76	有機農業	（学歴） 昭和39年3月 姰良町立山田中卒業 昭和43年3月 県立加治木工業建築科卒業 昭和50年3月 鹿児島経済大学経済学部経営学科卒業 平成22年9月 かごしま有機農業技術養成科一期生終了。 ◎青少年育成に励みボランティア活動を続けている！ 令和5年9月15日鹿児島県立農業大学校夜間塾の研修修了。 （職歴） 昭和43年9月 国鉄鹿児島運転支所臨時社員として入社 昭和45年3月 神戸森建築設計事務所入社 昭和50年3月 かごしま南風病院入社 昭和51年3月 東京向島郵便局入局 平成22年3月 鹿児島中央郵便局 退職	耕作面積：2反 作目：野菜、果物 農業従事日数：200日 農業所億額等：0円 自給自足生活をめざし自家消費し、果物・野菜クズは肥費として畑に還元している！	姫良	有	両親が農業従事者で馬、豚、牛を飼い肥料を田畠に入れて、果物、野菜を狭い開墾した土地でつくり家族で手伝っていた。私は赤坊の時から父の手造りの草刈かごに入れられてそれを見て育った。私は仕事で東京に出て埼玉越谷市花田に住んでから、生活のたまに又楽しみに農家さんより20坪ほど借りて無農薬野菜づくりを始めた。田舎に転勤になるころは100坪ほどに成っていた。鹿児島に転勤となり父を手伝いながら退職となり、かごしま有機農業、技術養成科一期生となり本格的に学習を修了しで現在2反ほど野菜、果物等をつくり楽しみながら自給自足生活をめざしている。農業人口が減少し心傷めている、又私自身も年を取り農業のあり方を考える日々である。若い人に自分のつくった野菜、果物がいかにおいしいか伝えたい。推進委員となり直一層農業の勉強をしたのである！